

資料1

第14回市民検討会議の意見の整理について

ワークショップの意見と修正案
前文

構成	前文のたたき台	第14回会議 前文のキーワード等	整理後の表現	修正案
燕市の 特徴	私たちのまち燕市は、信濃川、中ノ口川の悠々たる流れや国上山をはじめとする四季折々の豊かな自然が、住む人と訪れる人の心を優しく包み込んでくれるまちです。	「緑」 自慢の「万本桜」	緑、美しい情景	私たちのまち燕市は、信濃川、中ノ口川の悠々たる流れや国上山をはじめとする四季折々の豊かな自然に恵まれ、水と光と緑が織り成す美しい情景が、住む人と訪れる人の心を優しく包み込んでくれるまちです。
		「大河津分水路」 「水」	光、水	
	また、全国的にも追随を許さない金属加工技術と技能を有するとともに、地場産品の物流を支える商業や米どころ越後平野の一面を担う農業が、均衡ある発展を遂げてきた産業のまちです。	人間国宝が排出されるなど、 「技術や技」 修正：「追随を許さない」という表現を別の表現に。 「世界的にも知られる」 「ものづくりのまち」	世界に通じるものづくりの技	また、遠い時代から熱くたぎる情熱を持って築き上げてきた、ものづくりの伝統と世界に通じる技を有するとともに、活気とにぎわいを創出する商業や実り豊かな越後平野の一面を担う農業が、均衡ある発展を遂げてきた産業のまちです。
		「色々な分野で活躍している燕市」 「洋食器、鋤起など、金属加工が盛んなまち」 「色々な産業」が燕市の強み 「手作り」 「洋食器」	産業のまち	
		修正：商業の内容をもっと膨らませたい。 「実り豊かな蒲原平野」 修正：「米どころ越後平野」は不要では？	活気とにぎわいを創出する商業 実り豊かな越後平野	
		「進歩的なまち」	発展	
		「伝統的」	遠い時代からものづくりの伝統を脈々と築き上げ	
		「産業（人）の力強さ」を強調	熱くたぎる情熱を持って	
		修正：「良寛」「長善館」という表現は、具体的すぎるのでは？	人づくりの理念を盛り込むに当たり、教育立市宣言の前文を引用しています。よって、原案どおりとします	
		「不死鳥の如くよみがえる不屈の燕魂」 「東洋一の大工事、大河津分水路を完成させた」 「大河津分水」 「大河津分水路を造り上げた先人達を輩出した長善館」 「長善館の教育」	不死鳥の如くよみがえる不屈の燕魂 東洋一の大工事、大河津分水路を完成させた力強さ 長善館の人づくりの理念	
条例制定の背景	私たちを取り巻く社会が変化の中で、先人が積み重ねてきた貴重な財産をさらに発展させて未来に引き継ぐことが、私たちの重要な使命です。	修正：「使命」をやわらかい表現に。 「後輩に引き継ぐ」 「未来（次世代）に引き継ぐ」 「伝承」	「役割」に修正します。 次の世代、次の時代未来に引き継ぐ	私たちを取り巻く社会が変化の中で、一丸となって新たなまちづくりに取り組み、先人が積み重ねてきた貴重な財産をさらに発展させて次の世代、次の時代に引き継ぐことが、私たちの重要な役割です。
		修正：条例制定の背景と目指すまちの姿の部分の一つにまとめては？	長文となるため、原案どおり分けて表現します。	
		「燕は一つの精神」 「時代の変化に対応する」	一丸となって新たなまちづくりに取り組む	

構成	前文のたたき台	第14回会議 前文のキーワード等	整理後の表現	修正案
目指す まちの姿	独自の魅力ある燕らしさを創造し、「人と自然と産業が調和しながら進化するまち」を実現し、豊かで住みよい魅力と活力にあふれたまちを創るためには、・・・	「調和のとれた燕市」を強調 「調和のとれた豊かさ」 「豊かな自然を生かす」 「和」 「郷土に誇りが持てる」 「しなやかに心が継がれるまち」 「人が集まりたくなるまち」 「子ども」 「若者が(戻って)来るようなまち」 「安全・安心」なまち 「発展」 「活気」 「日本一輝くまち」	「人と自然と産業が調和しながら進化するまち」 誰もが暮らしたい、訪れたいと思えるまち 「日本一輝くまち」	独自の魅力ある燕らしさがあふれ、人と自然と産業が調和しながら進化した、誰もが暮らしたい、訪れたいと思える日本一輝くまちを創り上げるためには、・・・
その実現 のために	・・・このまちに暮らす私たち一人ひとりが、まちづくりの主人公であることを改めて認識し、積極的にまちづくりについて考え、行動していかなければなりません。 そして、まちづくりに関わる多様な主体が、お互いにまちづくりを支えるパートナーであることを認め合い、尊重し合いながら、それぞれの役割を分担し、協働してまちづくりに取り組んでいくことが必要です。	修正：「しなければなりません」をやわらかい表現に。 修正：「パートナー」よりも良い表現はないか。 修正：「その実現のために」「目的・決意」の項目で「まちづくり」という言葉が多くあるため、それらを削除して、最後の部分の一つにまとめて表現しては。 「人づくりを支える」 「助け合う」 「人と人のつながり」 「おもいやり」 「積極的に参画」 修正：「積極的に～そして、」までの表現を削除して一つにまとめては？ 「協働・参画」 修正：「改めて」は不要では？	「求められます」に修正します。 協力者、理解者等の表現も考えましたが、原案どおりとします。 「地域」に置き換える等、修正を行います。 支え合う 積極的にまちづくりについて考え、行動 長文となるため、原案どおり前半は参画、後半は協働と分けて表現します。 協働してまちづくりに取り組む。 これまでも認識はされていたが改めてという意味から原案どおりとします。	・・・このまちに暮らす私たち一人ひとりが、まちづくりの主人公であることを改めて認識し、積極的にまちづくりについて考え、行動していくことが求められます。 そして、まちづくりに関わる多様な主体が、お互いに地域を支えるパートナーであることを認め合い、尊重し、支え合いながら、それぞれの役割を分担し、協働してまちづくりに取り組んでいくことが必要です。
目的 決意	ここに私たちは、燕市の目指すまちづくりの理念及びまちづくりの基本的な事項を明らかにし、燕市にふさわしいまちづくりを私たちみんなの力で進めていくために、この条例を制定します。	修正：「燕市の～明らかにし、」を削除。 修正：「燕」という名前の由来も必要では？ 「国際的」な発展を目指したいつばめという名に関連した「はばたく未来」 「躍進」	分かりやすさの観点から原案どおりとします。 由来については前文の解説に加えます。 世界と未来に向かって 羽ばたく燕市	ここに私たちは、燕市の目指すまちづくりの理念及び基本的な事項を明らかにし、世界と未来に向かって羽ばたく燕市のまちづくりを私たちみんなの力で進めていくために、この条例を制定します。

(仮称)まちづくり基本条例の名称についての意見

「燕市夢あるまちづくり基本条例」 「燕市まち・夢基本条例」 「燕市まちづくり基本条例」(グループのまとめとして) 「燕市まちづくり基本条例」 「はばたく燕市まちづくり基本条例」 「燕市協働のまちづくり基本条例」 「燕市みんなのまちの基本条例」 「まちづくり市民協働参画つばめ条例」 「みんなの燕市まちづくり基本条例」(グループのまとめとして) 「燕市みんなで作る・守る基本条例」	「燕市市民参画まちづくり基本条例」 「燕市まちづくり基本条例」 「日本一輝く燕市まちづくり基本条例」 「燕市市民総参加総合まちづくり基本条例」 「自立と調和の燕市まちづくり基本条例」 「燕市まちづくり基本条例」 「未来にはばたく燕市まちづくり基本条例」 「燕市まちづくり基本条例」 「燕市ひと・まちづくり基本条例」
一番多かった意見は？ 「燕市まちづくり基本条例」	